

## ■ダボス会議に被災地の若者招待

各国各界のリーダーたちが集まって中国・大連で14～16日に開かれる夏季ダボス会議に、東日本大震災で被災した若者が招かれることになった。

参加するのは、岩手、宮城、福島の子の3県の子と大学生の計7人。12日に東京都内で開かれた記者会見で、福島大2年の大越護さんは「世界のリーダーに原発が本当に必要かどうか問いかけてみたい」、津波で父親を失った仙台育英高校1年の日下マリアさんは「今の状況を世界に伝えることで、世界が一つになって助け合ってほしい」と語った。